

令和6年度 第2回かほく市行政改革推進委員会 会議録

日 時	令和6年9月5日（木） 午前9時58分～午前10時52分
場 所	かほく市役所庁舎 302会議室
出席委員	坂野委員、南委員、西田委員、松本委員、楠委員、桶谷委員、浜本委員、森下委員、東委員、竹本委員（10名） ※欠席：元木委員、上村委員（2名）
事 務 局	総務課【竹田課長、新田主幹、石野主査、岩井主事】
議 題 等	1. 開会 2. 坂野会長あいさつ 3. 令和5年度における行政改革実施報告について 4. 第5次行政改革大綱の策定について 5. その他
会議資料	- 令和5年度第4次かほく市行政改革実施報告書 - 第5次かほく市行政改革実施計画（案） - 第4次かほく市行政改革実施計画大綱

○令和5年度第4次かほく市行政改革実施報告書について

- 事務局より、令和5年度第4次かほく市行政改革実施報告書について、会議資料に沿って説明を行った。

○第5次かほく市行政改革大綱の策定について

- 事務局より、第5次かほく市行政改革大綱の策定について、第5次かほく市行政改革実施計画（案）に基づき、説明を行った。

○その他

- 事務局より、次回の会議の開催予定と委員報酬の支払についての説明を行った。

【主な質疑応答】

<令和5年度における行政改革実施報告について>

（委 員）

- 令和5年度実績報告における「おくやみコーナー」の利用実績について、予約あり・予約なしというのはどういう状況か。

（事務局）

- ご遺族の方が、亡くなられた方に対する市役所での各種手続きをされる場合に、来庁日時を予約するものである。
- 亡くなられた方に対する市役所での各種手続きは、多岐にわたるため、「おくやみ窓口」

を予約していただくことで複数の部署を回らず、ワンストップ化することで、遺族の負担軽減を目的としているものである。

(委 員)

- ・予約の有無で手続きに違いはあるのか。

(事務局)

- ・違いはない。予約なしの場合は、手続きに時間がかかるというだけである。

(委 員)

- ・令和5年度実績報告における定住促進の推進について、「新婚さん住まい応援事業」の対象者が40歳未満という説明があったが、「若者マイホーム取得奨励金」についても40歳未満が対象であるのか。

(事務局)

- ・「新婚さん住まい応援事業」については、40歳未満が対象である。この事業は、かほく市に引越されてきた方に対してアパート代などの家賃を補助することで、かほく市への移住を促進し、かほく市の住みやすさをPRしているものである。
- ・「若者マイホーム取得奨励金」については、45歳未満が対象である。これは、ローンを借りられる年齢が45歳という区切りがあるため、年齢上限を定めているものである。

(委 員)

- ・夫婦どちらも45歳未満でないといけないのか。

(事務局)

- ・ローン対象者が45歳未満であるかどうかで判断する。

(委 員)

- ・令和5年度実績報告における効率的な財政運営の確保について、介護保険料の普通徴収口座振替率が他の項目と比べると低くなっている。この理由は何か。

(事務局)

- ・介護保険料は、基本的に年金から天引きする（特別徴収）こととなっているが、年度の途中で65歳になった方などは切り換えのタイミングによって、数か月間はご自身で納めていただく（普通徴収）期間が発生する。そういった方々に対して、納め忘れ防止のため口座振替の案内をするが、数か月間のために口座振替をされる方が多くないことが要因である。

<第5次行政改革大綱の策定について>

(委 員)

- ・人材育成及び行政事務の効率化における⑭働きやすい職場環境の実現について、育児休業はどのくらいの期間取得できるのか。

(事務局)

- ・男女ともに最長3年間取得可能である。

(委 員)

- ・職員の方は、皆さん3年間取得されるのか。

(事務局)

- ・女性職員は、以前は1年間～2年間が多かったが、最近は3年間取得されている方も

増えている。また、近年は男性職員の育児休業の取得も増えてきている。現在は、3か月～4か月の取得が最長であるが、これから男性職員の育児休業も浸透していき、その期間も伸びていくのではないかと考えている。

(委 員)

- ・人材育成及び行政事務の効率化における⑪機能的な組織運営について、会議・研修のペーパーレス化とあるが、こういった外部の会議のペーパーレス化も検討されているのか。

(事務局)

- ・費用面などもあり、すぐにペーパーレス化することは難しいが、将来的には、こういった外部の会議もペーパーレス化していきたいと考えている。

(委 員)

- ・市民サービスの向上における③市民の健康づくりの機会創出について、介護教室の開催回数を指標としているが、かほく市での介護者の現状についてお聞きしたい。

(事務局)

- ・介護教室取り組みについての現状を申し上げますと、昨年度は、男性介護者教室では「認知症の方の対応」について、家族介護者教室では「身体介護・口腔ケア」などについての介護者教室を開催した。実績報告にもあったが、参加者は概ね10名～20名である。担当課においては、多くの方に参加いただけるよう周知を図っていきたいということで聞いている。

(委 員)

- ・人材育成及び行政事務の効率化における⑩定員管理の適正化について、現在の会計年度任用職員の人数及び適正化計画に会計年度任用職員も含まれているのか教えていただきたい。

(事務局)

- ・適正化計画は、正規職員のみである。
- ・正規職員は約360名。会計年度任用職員は、年度途中でもかなり増減があるため、4月1日時点での数字になるが、正規職員数の360名より多い状況である。

(委 員)

- ・かほく市の決算を見ると人件費が伸びている。行財政改革において議論し、適正な定員管理を期待する。

午前10時52分会議終了